

非常変災時等におけるオンラインの活用について

令和2年9月1日
三重県立桑名北高等学校

1 基本的な考え方

年度当初の臨時休業期間中に、オンライン HR の実施に加え、オンライン教育に取り組みました。このノウハウを活用し、暴風警報等の発令や公共交通機関の不通による臨時休業、災害等で臨時休業が長期に及ぶ場合には、安全の確保を最優先としつつ、オンラインによる生徒の安否確認や学びの保障を行います。

2 生徒の在校中に暴風警報や特別警報が発令された場合の対応

- 公共交通機関の運休等により下校できない生徒については、校内の安全な場所で待機することとなります。なお、保護者が学校に迎えに来て下校することは可能です。保護者が迎えに来ることができない場合は、引き続き学校で待機します。生徒は保護者と常に連絡が取れるようにしておいてください。
- 自転車通学者のうち、暴風雨が激しくて自転車での下校が難しい場合は、原則として徒歩で下校し、徒歩での下校が困難な場合は、上記に準じて対応してください。
- 帰宅した生徒は、Google フォームのアンケートに無事回答した旨の回答をしてください。

3 暴風警報や特別警報、公共交通機関の不通等により臨時休業となった場合の具体的な対応例

(1) 学校の対応

- 臨時休校が決定した場合には、Google Classroom の各 HR にて HR を実施し、個々の生徒の安否確認及び通信回線等の状況把握を行います。
 - 翌日以降も臨時休業となる可能性がある場合は、今後のオンライン HR や Google Classroom を用いたオンライン教育等の諸連絡も行います。
- ※ Google Classroom の開設時間等は一斉メール（絆ネット）にて案内します。

(2) 生徒の対応

- Google Classroom の各 HR に参加し、現在の状況を報告します。
- 臨時休校が続く場合には、今後の予定を確認し、教科ごとに開設された Google Classroom にて、指定された内容に取り組みます。

4 公共交通機関の不通等により、一部の生徒が登校できない場合の具体的な対応例

(1) 生徒の対応

- ・学校に登校できない旨を連絡します。その後、学校から指示されるので、その指示に従ってください。

(2) 学校の対応

- ・一斉メール（絆ネット）または、Google Classroom にて対応を指示します。